

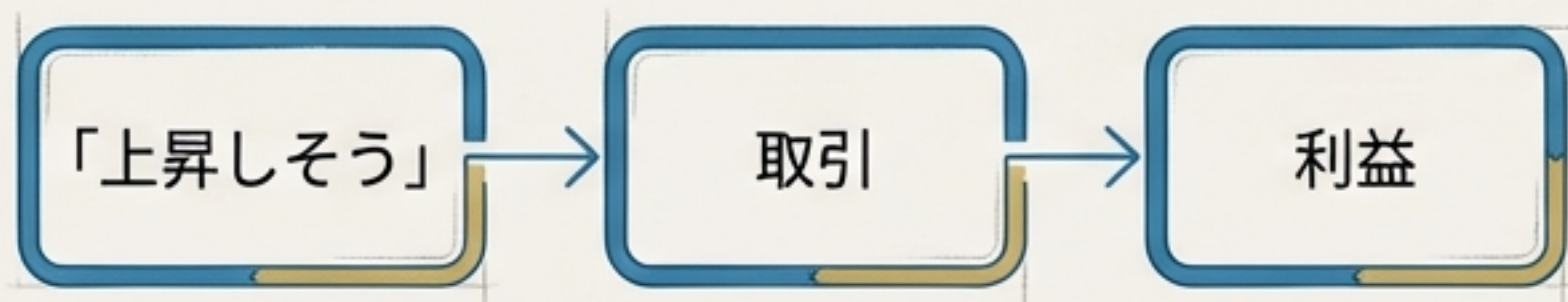
絶望の淵から生まれた、 投資家としての再生の物語

なぜ「上昇しそう」という感覚を捨て、
「確信」だけを追求するようになったのか

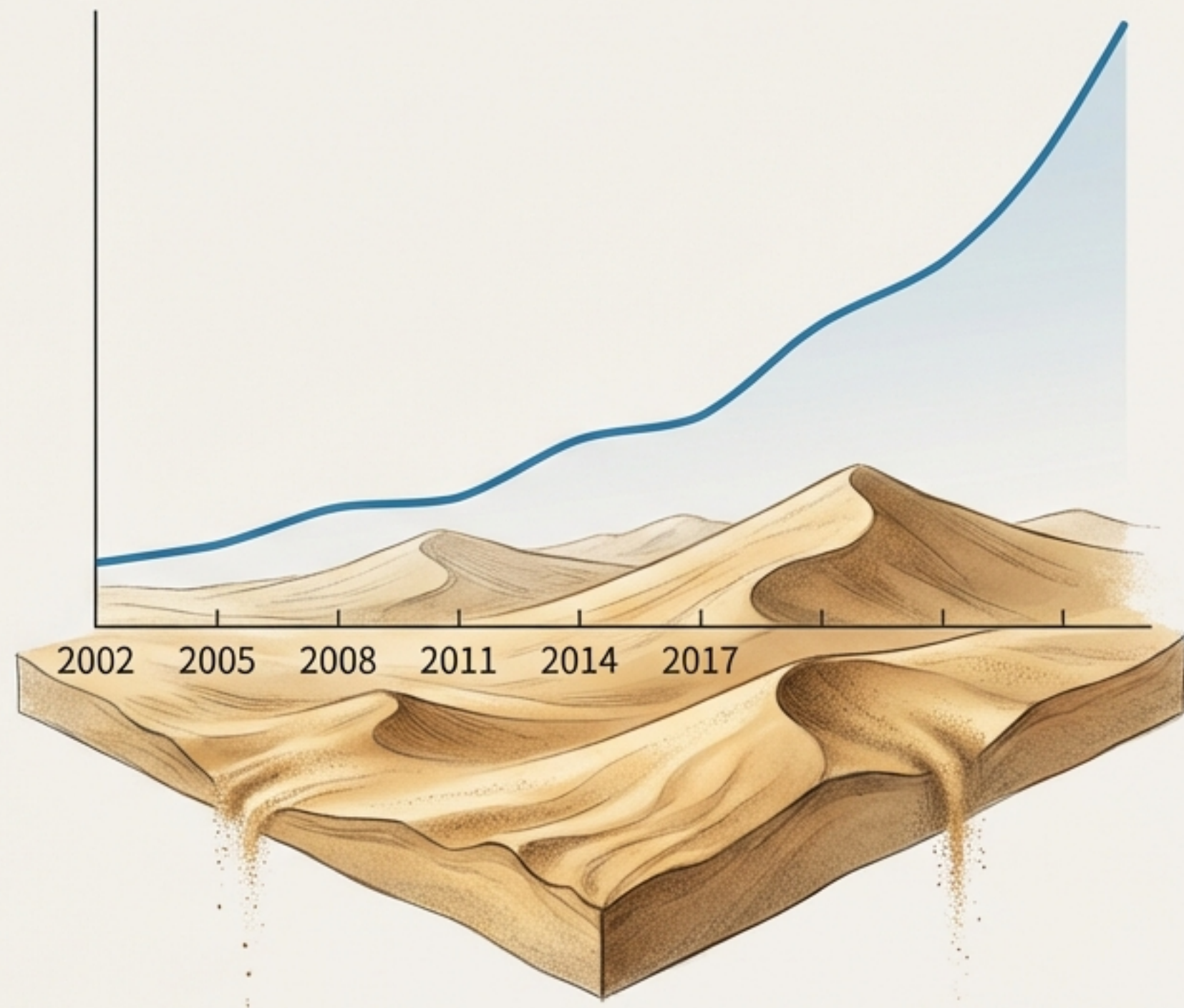


過信の時代：上昇相場がすべてを許してくれた

2002年から投資を開始。私が知っていたのは、
上昇相場だけでした。
当時の取引は単純明快でした。



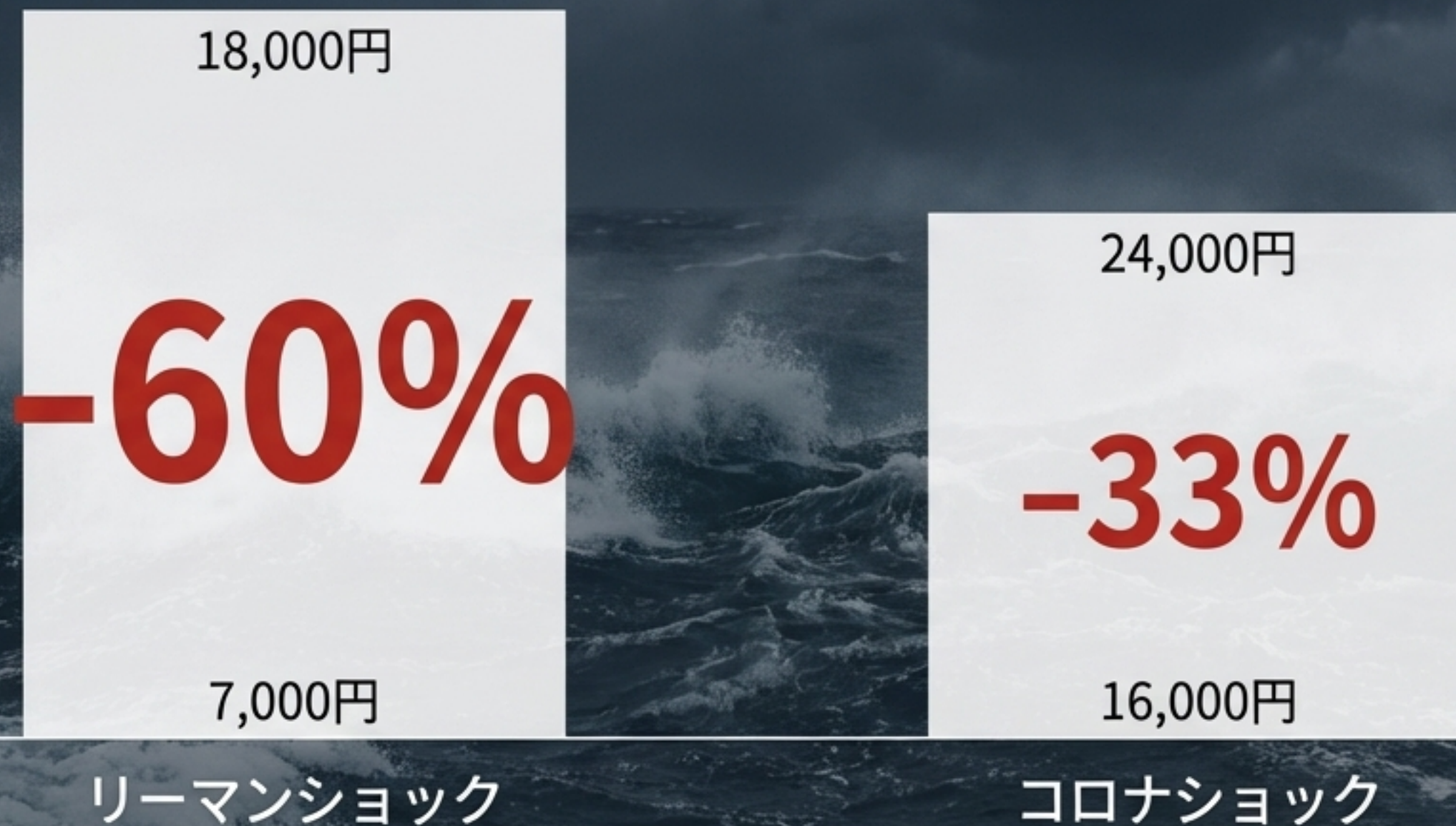
この単純な方程式が、いとも簡単に成り立っていました。
自分のスキルで利益を出し続けていると、本気で信じていました。



リーマンショックという名の嵐、その本当の大きさ

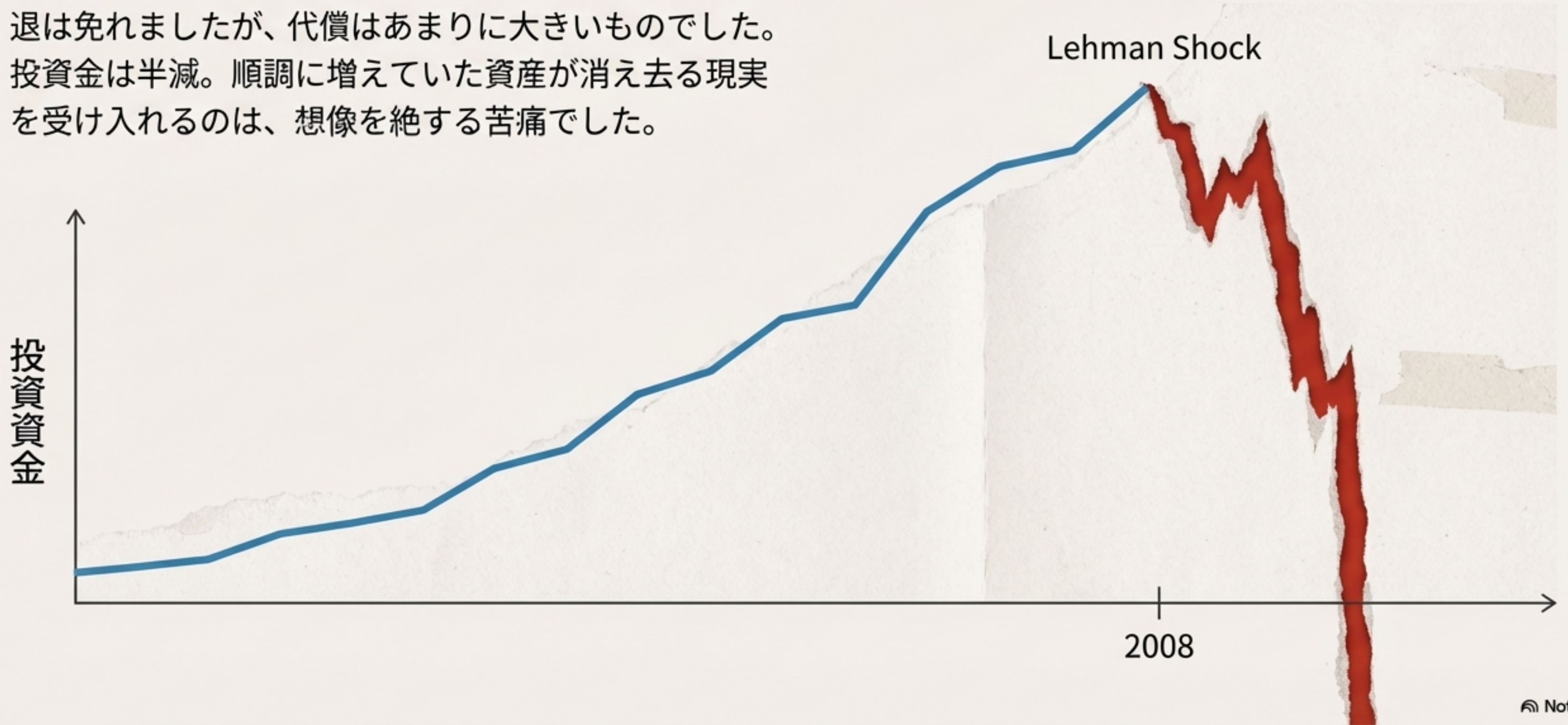
近年のコロナショックと比較しても、その破壊力は桁違いでした。

日経平均の下落率で比較すると、その差は歴然です。



わずか半年で、すべてが崩れ落ちた

多くの投資家が市場から去りました。私は幸運にも撤退は免れましたが、代償はあまりに大きいものでした。投資金は半減。順調に増えていた資産が消え去る現実を受け入れるのは、想像を絶する苦痛でした。



絶望

「今まで自分のスキルで利益を出し続けていたと思っていたことが、全否定され崩れ落ちました。精神的ショックは、人生最大でした。」

再生への第一歩

腐ったら終わりだ、と思いました。まだ投資資金が残っていたのが、せめてもの救いでした。

そして、最も重要で、最も困難な一歩を踏み出しました。

「まずは、素直に自分の投資方法が間違っていたことを認めました。」



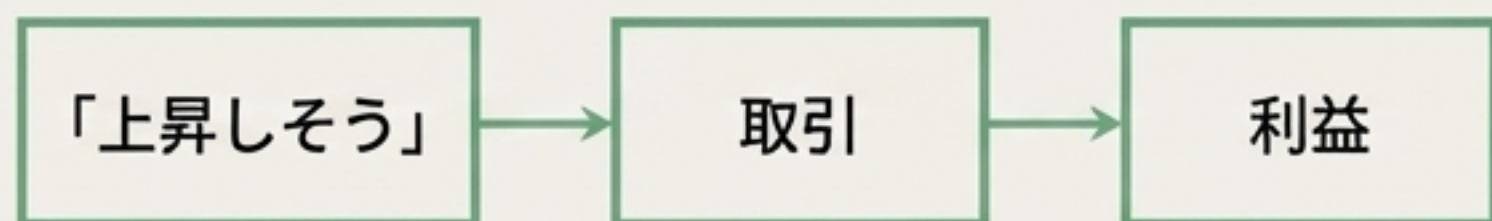
敵の正体：「上昇しそう」という、抗いがたい欲

なぜ負けたのか？リーマンショック以前の取引を振り返り、根本的な欠陥に気づきました。

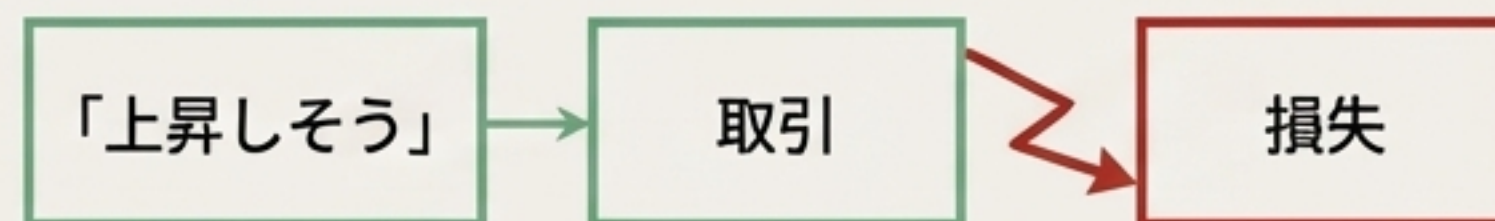
それは「上昇しそう」という安易な考え方で取引していたことです。

日々相場を見ていると、この「取引してしまう欲」をコントロールするのは至難の業でした。

上昇相場



下落相場



新たな武器：感情を排除する、統計学という光

感情のコントロールに苦戦する中、理系人間である私を納得させたのは、統計学でした。

「上昇しそう」で取引したケースの統計を取り続け、その結果を直視しました。

“「その結果、上昇する銘柄はありましたが、多くは値を戻したり、さらに下落することが統計データより証明されました。」



新しい投資哲学の確立

データが証明した以上、もはや「上昇しそう」という欲に反応することはありませんでした。

ここから、私の投資は根本的に変わりました。
感覚的な取引から、確固たる根拠に基づく取引へ。

「上昇しそう」 → 「確信」

「利益」から「継続した利益」へ

「確信」を追い求める投資法は、取引の精度を劇的に向上させました。
それは、単発の「利益」を、再現性のある「継続した利益」へと変えました。



失敗の価値：絶望は、最高の教師だった

長い人生において、失敗は誰にでもあります。重要なのは、それを認め、次に生かすことです。

「幸い私は、リーマンショックによって
大きな失敗を経験できました。

この失敗のおかげで、
それまでの取引方法を大きく見直すきっかけになりました。」

あなた自身の物語へ

もし、あなたも大きな損失を経験し、それでもこの世界で利益を出したいと決意したならば。

今こそ、取引方法を大きく見直す時です。時間はかかりますが、それだけの価値は十分にあります。

**あなたの投資を、
「上昇しそう」から「確信」
へと進化させてみませんか。**



次の一步：さらなるスキルアップを目指すあなたへ

仕手株投資で確実に利益を出し続けるためには、知るべきことがまだ多くあります。
この巡り合わせをきっかけに、投資家としてのスキルをさらに磨いていきましょう。

このサイト「仕手株.コム」では、仕手株銘柄の株価動向など、継続した利益を追求するための情報を発信しています。



仕手株.コム

